令和６年度（第17回）国土交通大臣賞〈循環のみち下水道賞〉

アセットマネジメント部門

下水道を守り、健康も守る透析へ

～マンパワーを最大限活用したプロジェクト管理と課題解決の推進力となる新たなパートナーとの連携～

東京都下水道局・日本透析医学会・日本透析医会・日本臨床工学技士会

受賞事例の概要

何が起きたのか

医療モールビルで
原因不明の
管渠損傷

原因は透析機器の
洗浄時酸性排水

他の透析医療機関
でも同じ損傷が・・・

すぐ対応しないと！
が、“人・モノ・カネ”、どうしよう…
医療の知識もないし…
では、工夫しよう！

そこで工夫したこと

段階的プロジェクト管理

限られたマンパワーで早期解決

- ステップ１　実態把握
- ステップ２　新たなパートナーとの連携
- ステップ３　各主体の強みを活かした取組の開始

新たなパートナーとの連携

都下水道局
- 国（国土交通省・厚生労働省）
- 業界団体　発信力
- 薬剤・中和装置メーカー　開発力

取組体制パワーアップ

こんなことに取り組みました

東京都下水道局

職員による排水指導

現地指導

デジタル機器による調査

可搬型
pH計

分かりやすい啓発

新たなリーフレット・HP掲載

業界団体
（日本透析医学会・日本透析医会・日本臨床工学技士会）

自主管理体制の構築

透析排水管理WG結成
“基準達成のための手順書”作成

透析医療機関への普及啓発

医療機関への
定期的な啓発

国

全国への注意喚起

事務連絡発出
（国土交通省、厚生労働省）

メーカー

技術開発

基準適合薬剤開発
省スペース中和装置開発

PRポイント！

- 行政・パートナーそれぞれの専門知識を活用し、透析医療機関へ情報提供
  ⇒官民連携の相乗効果により、**医療業界による自主的な再発防止策の実施や技術開発といった好循環**が発生
- 限られた資源で効果的に排水指導をするため、ステップごとに目的を絞りプロジェクトを管理

取組の効果！

- 東京 23 区内全透析医療機関の酸性排水対策が完了！
- 業界団体の知見や医療機関への働きかけにより、透析医療機関の排水対策が加速
- 官と民による持続的な下水道運営を実現
  ⇒透析患者さんへ安定的な医療の提供！

Key Person

日本透析医学会学術委員会
透析排水管理 WG 委員長
順天堂大学医療科学部
特任教授 峰島 三千男

透析医療では治療中・治療後に薬剤を含む排水を下水に流していますが、その一部の酸性排水によって下水道事業に支障を来す事例が発生しました。東京都下水道局より指摘されて以来、官学民連携のもと医療の質を落とさずに基準を満たす排水対策を講じることができました。今回の受賞はその成果に対するものであり、関連団体としても栄誉あるものと受け止めています。

人口減少などで組織の資源が限られていく中、問題解決の近道として「パートナーとの連携」を考え、「作戦を立ててから取り組む」ことで、対策が早期に完了しました。短い期間で完了したのは、透析医療機関排水対策を全国的な課題として捉え、自主的に取り組んで下さった多くの協力者のお陰です。

東京都下水道局施設管理部
排水指導担当課長
三好　曜子

現）東京都下水道サービス㈱
管路部 中部エリア管路課
松井　希予